

# 米子市文化財保護審議会 (令和5年度 第1回)

日 時 令和5年10月13日 (金) 10:30～  
ところ 市役所第2庁舎3階 第3会議室

## 日 程

### 現地視察

潮止め松 (市指定天然記念物)・清洞寺跡 (市指定史跡) の現状確認

### 1 開 会

### 2 挨 拶

### 3 議 事

- (1) 会長・副会長の選任について
- (2) 米子市指定文化財 (有形文化財) の新規指定について (諮問)
- (3) 文化財保存活用地域計画 (案) について

### 4 報 告

- (1) 米子市指定文化財 (天然記念物・史跡) の現状について
- (2) 史跡米子城跡の樹木伐採・土砂災害対応について
- (3) 令和5年度 (上半期) 文化財保護事業実施状況について
- (4) 令和5年度 (下半期) 文化財保護事業実施計画について

### 5 その他

### 6 閉 会

## 米子市文化財保護審議会委員

令和5年4月1日現在(50音順) 任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

No.	氏名	ふりがな	専門分野	所属、役職等
1	浅井 秀子	あさい ひでこ	建造物	鳥取大学工学部准教授
2	金澤 雄記	かなざわ ゆうき	建築史	広島工業大学准教授
3	神谷 要	かみや かなめ	天然記念物(動物)	米子水鳥公園館長
4	喜多村 理子	きたむら まさこ	風俗慣習、民俗技術	学識経験者
5	鷺見 寛幸	すみ ひろゆき	名勝、天然記念物 (植物)	大山町教育委員会教育長
6	田中 秀明	たなか ひであき	史跡、考古資料、 古代史	学識経験者
7	常松 喜恵子	つねまつ きえこ	音楽、民俗芸能	声楽家
8	丸山 柚美	まるやま ゆみ	美術工芸品、工芸技術	工芸作家
9	山道 俊哉	やまみち としや	古文書、近世史	米子工業高等学校
10	山本 恭子	やまもと きょうこ	文化人類学	米子市立山陰歴史館副館長

## ○米子市文化財保護審議会条例

平成17年3月31日条例第196号  
改正 平成28年3月25日条例第14号

### (設置)

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、米子市文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

### (所掌事務)

第2条 審議会は、米子市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、本市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

### (組織)

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、委員の委嘱後初めての会議は、教育委員会が招集する。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

### (委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

### 附 則

この条例は、平成17年3月31日から施行する。

### 附 則（平成28年3月25日条例第14号抄）

#### (施行期日)

1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

# 米子市内指定文化財等一覧

(R5・10・13現在)

## 1 国指定文化財 (11件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	重要文化財	短刀銘備州長船住兼光附金熨斗付合口拵	工芸品	T1.9.3	大神山神社	尾高1025(東京国立博物館寄託)
2	史跡	向山古墳群	古墳	S7. 7. 23 H11. 7. 13(追加指定・名称変更)	米子市	淀江町福岡621ほか
3	重要文化財	石馬	考古資料	S34.12.18	天神垣神社	淀江町福岡(天神垣神社)
4	史跡	福市遺跡	集落跡・古墳	S45.10.17	米子市	福市457-1ほか
5	重要文化財	後藤家住宅 主屋・一番蔵・二番蔵	建造物	S49. 2. 5 H5. 8. 17 H8. 7. 9	個人	内町
6	史跡	青木遺跡	集落跡・古墳	S53.3.22	米子市	永江250ほか
7	史跡	鳥取藩台場跡(由良台場跡 境台場跡 淀江台場跡 橋津台場跡 浦富台場跡 赤崎台場跡)	政治に関する遺跡	S63.7.27 H10.12.8 H28.3.1	米子市	淀江町今津267-1ほか
8	史跡	上淀庵寺跡	社寺跡	H8.3.29 H17.7.14	米子市、個人	淀江町福岡
9	史跡	妻木晩田遺跡	集落跡	H11.12.8 H20.3.28	鳥取県・米子市ほか	米子市淀江町 大山町妻木
10	名勝	深田氏庭園	庭園	H12.12.20	個人	車尾
11	史跡	米子城跡	城跡	H18.1.26 R3.3.26	米子市	久米町261ほか

## 2 県指定文化財 (20件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	保護文化財	木造十一面観音坐像	彫刻	S28.8.8	戸上・観音寺総合区	観音寺
2	保護文化財	鉄茶釜	工芸品	S32.2.6	米子市	米子市中町12番地(米子美術館)
3	保護文化財	高田家住宅附家相図一枚	建造物	S49.3.29 R2.5.22	個人	福万
4	無形民俗文化財	米子盆踊り	民俗芸能	S49.10.18	米子盆踊保存会	富士見町
5	無形文化財	弓浜緋	工芸技術	S53.12.12	弓浜緋保存会	米子市・境港市
6	天然記念物	粟嶋神社社叢	植物	S57.4.9	粟嶋神社	彦名町1404
7	保護文化財	刀無銘伝古伯耆物 附銀造糸巻太刀拵	工芸品	S62.12.25	大神山神社	尾高
8	保護文化財	絵画土器(角田遺跡出土)	考古資料	H16.2.3	米子市	淀江町福岡971-1 (上淀白鳳の丘展示館)
9	名勝	心光寺庭園	庭園	H17.11.29	心光寺	寺町39
10	保護文化財	上淀庵寺跡出土壁画・塑像 附瓦・土器類	考古資料	H21.9.29	米子市	淀江町福岡971-1 (上淀白鳳の丘展示館)
11	保護文化財	井手挾3号墳出土埴輪一括	考古資料	H22.9.17	米子市	淀江町福岡971-1 (上淀白鳳の丘展示館)
12	保護文化財	旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道車両 附関連資料一括	歴史資料	H23.3.22	米子市・南部町	道笑町1丁目パティオ広場ほか
13	保護文化財	相見家文書	古文書	H24.2.24	個人	県博に寄託
14	保護文化財	龍虎図屏風	絵画	H25.3.8	個人	米子市
15	保護文化財	瑞仙寺文書	古文書	H27.9.11	瑞仙寺	日下584
16	無形文化財	革工芸(保持者・本池秀夫)	工芸技術	H28.4.26	本池秀夫	大篠津町

17	無形民俗文化財	弓浜半島及び近隣地域のトンド	風俗慣習	H30.4.27	地元自治会等	兼久、東八幡、青木、西福原
18	保護文化財	神像 附神像3躯	彫刻	R3.11.19	八幡神社	東八幡276(八幡神社)
19	保護文化財	山陰歴史館所蔵長田文書	古文書	R3.11.19	米子市	中町20(山陰歴史館)
20	有形民俗文化財	綿栽培道具	生産	R5.6.13	米子市・日吉津村	中町21(山陰歴史館)ほか

### 3 市指定文化財 (36件)

No.	種類		指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	有形文化財	旧小原家長屋門	建造物	S52.4.1	米子市	久米町209
2	有形文化財	米子市役所旧館	建造物	S52.4.1	米子市	中町20
3	有形文化財	朝比奈三郎、菅我五郎の草摺りを曳く図	絵画	S52.4.1	貴布禰神社	車尾550
4	史跡	尾高城跡	城跡	S52.4.1	米子市	尾高1268ほか
5	史跡	目久美遺跡	集落跡	S52.4.1	米子市	目久美町
6	史跡	清洞寺跡	社寺跡	S52.4.1	米子市	西町68地先
7	名勝	粟嶋	島嶼	S52.4.1	粟嶋神社	彦名町1404
8	史跡	中村一忠墓地 附中村一忠主従木像三体	墳墓	S53.4.1	感応寺	祇園町1丁目87
9	天然記念物	潮止め松	植物	S52.4.1	鳥取大学	西町68-8ほか
10	天然記念物	和田御崎神社元宮社叢	植物	S53.4.1	和田御崎神社	大篠津町2150
11	有形文化財	松南農兵隊関係遺品	歴史資料	S53.11.10	日吉神社・個人	淀江町西原
12	有形民俗文化財	石像、亀甲神社の道祖神神体	信仰	S53.11.10	亀甲神社	淀江町中間亀甲631
13	無形文化財	淀江傘製造技術	工芸技術	S53.11.10	淀江傘伝承の会	淀江町796
14	無形民俗文化財	淀江さんご節	民俗芸能	S53.11.10	淀江さんご節保存会	淀江町
15	無形民俗文化財	日吉神社神幸神事	風俗慣習	S53.11.10	日吉神社神幸神事保存会	淀江町西原
16	有形文化財	横田内膳墓碑および遺品	墳墓(歴史資料)	S55.4.1	妙興寺	寺町46
17	有形文化財	大谷家資料	工芸品・古文書	S63.7.8	米子市	中町20(山陰歴史館)
18	有形文化財	太刀 銘安綱	工芸品	H3.10.29	大神山神社	尾高1025
19	有形文化財	安養寺資料	古文書	H2.5.10	安養寺	福市724
20	史跡	荒尾家墓所 附荒尾家位牌	墳墓	H2.5.10	個人、了春寺	博労町2丁目
21	有形民俗文化財	芋代官碑	信仰	H2.5.10	迎接院	夜見町2606
					富益神社	富益町1912
					雲泉寺護持会	和田町2571
					任宗寺壇中	葭津1469
22	無形民俗文化財	上淀の八朔行事	風俗慣習	H15.4.1	上淀自治会	淀江町福岡
23	有形文化財	米子城鯨	歴史資料	H17.2.6	米子市ほか	中町、立町
24	史跡	陰田1号墳	古墳	H22.6.28	個人	陰田町
25	史跡	石州府1号墳	古墳	H25.4.10	米子市	石州府660ほか

26	有形文化財	水管橋	歴史資料	H28.1.29	米子市水道局	糺町
					米子市水道局	西倉吉町
	有形文化財	木造神像	彫刻	2021/11/19県指定	八幡神社	東八幡
27	有形文化財	木造狛犬	彫刻	H28.1.29	八幡神社	東八幡
28	天然記念物	青木神社社叢	植物	H28.1.29	青木神社	青木
29	有形文化財	貴布禰神社 石造唐獅子	彫刻	R2.10.23	貴布禰神社	車尾5-7-41
30	有形文化財	桃形兜	工芸品	R2.10.23	米子市	中町20(米子市立山陰歴史館)
31	有形文化財	長砂経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市281(米子市埋蔵文化財センター)
32	有形文化財	中山経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市282(米子市埋蔵文化財センター)
33	有形文化財	石馬顕彰碑	歴史資料	R3.12.1	天神垣神社	淀江町福岡1015番1
34	有形文化財	D51形蒸気機関車	歴史資料	R4.10.5	西日本旅客鉄道株式会社	西町(湊山公園)
35	史跡	旧海軍美保航空隊飛行機用掩体	戦跡	R4.10.5	米子市	大篠津町
36	有形文化財	古曳盤谷筆龍之図天井画	絵画	R5.3.28	阿陀萱神社	橋本(阿陀萱神社)
	史跡	勝田土手	その他経済生産活動に関する遺跡	諮問中	米子市	勝田町
	有形文化財	皆生温泉市街地設計図(折下吉延作製)	歴史資料	諮問中	皆生温泉観光株式会社	皆生温泉1丁目18-1

#### 4 登録有形文化財 (17件)

No.	種類	名称	登録基準	登録年月日	所有者等	所在地
1	登録有形文化財	米子専門本店	造形の規範	H13.8.28	個人	道笑町
2	登録有形文化財	旧米子市水源地旧ポンプ室	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
3	登録有形文化財	旧米子市水源地記念碑	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
4	登録有形文化財	旧米子市水源地水神社	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
5	登録有形文化財	旧日野橋	歴史的景観	H15.3.18	米子市	車尾・吉岡
6	登録有形文化財	坂口家住宅主屋	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
7	登録有形文化財	坂口家住宅離れ及び渡り廊下	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
8	登録有形文化財	坂口家住宅土間倉	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
9	登録有形文化財	坂口家住宅土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
10	登録有形文化財	坂口家住宅門及び塀	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
11	登録有形文化財	石質本店土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	法勝寺町
12	登録有形文化財	東光園	造形の規範	H29.10.27	ベネフィットホテル株式会社	皆生温泉3-2155ほか
13	登録有形文化財	旧外江屋店舗(米子まちなか観光案内所)	歴史的景観	R3.6.24	個人	灘町1丁目19ほか
14	登録有形文化財	判屋船越家住宅主屋	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
15	登録有形文化財	判屋船越家住宅東蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか

16	登録有形文化財	判屋船越家住宅西蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
17	登録有形文化財	判屋船越家住宅裏門	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか

### 5 国記録選択 (2件)

No.	種類		選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地
1	無形民俗文化財	出雲・伯耆の荒神祭	風俗慣習	H21.3.11	鳥取県・島根県	鳥取県・島根県
2	無形民俗文化財	上淀の八朔綱引き	風俗慣習	H20.3.13	淀江町福岡	淀江町福岡

### 6 県記録選択 (1件)

No.	種類		選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地
1	無形民俗文化財	弓浜半島のトンド	風俗慣習	H23.11.25	米子市・境港市・南部町及び伯耆町	米子市・境港市・南部町及び伯耆町

- ・国指定文化財 11件
- ・県指定文化財 20件
- ・市指定文化財 36件(物件数 39件)
- ・国登録有形文化財 17件
- ・国選択文化財 2件
- ・県選択文化財 1件

**合計 87件(物件数 89件)**

**【議 事】**

令和5年10月13日

(1) 会長・副会長の選任について

(2) 米子市指定文化財（有形文化財）の新規指定について（諮問）

(3) 文化財保存活用地域計画（案）について



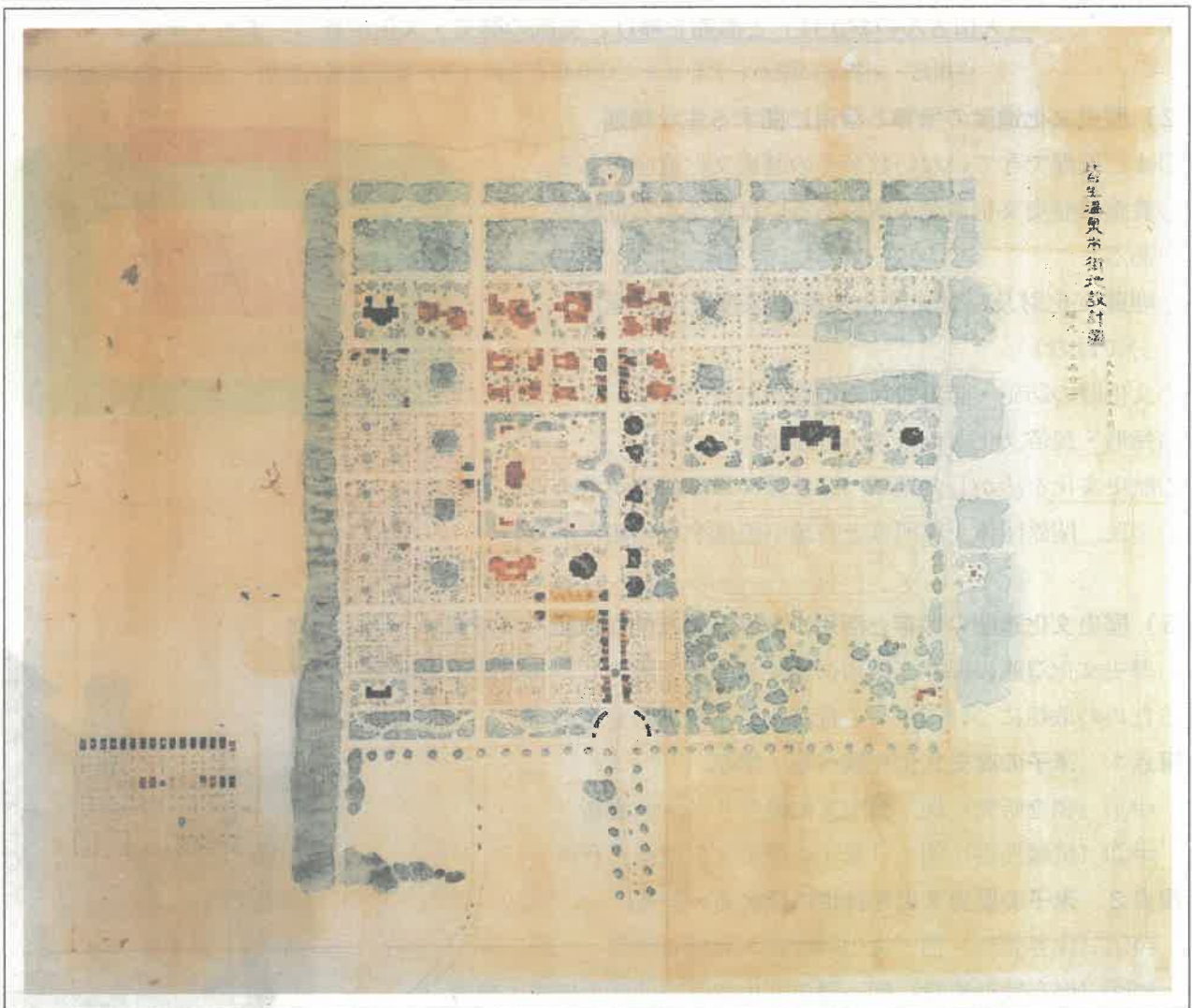
【議事2】資料

令和5年度米子市文化財指定文化財候補の概要について

区分	種別	名称	所在地	数量	所有者・管理者
新規指定	有形文化財 (歴史資料)	皆生温泉市街地設計図 (折下吉延作製)	米子市皆生温泉 一丁目18番1	1枚	皆生温泉観光株式会社

【資料解説】(かいけおんせんしがいちせつけいず おりしもよしのぶさくせい)

地方振興の一環として皆生温泉開発に着手した有本松太郎は、単なる温泉開発でなく都市計画を含む一大温泉郷開発を志した。その構想を具体的に示したのが「皆生温泉市街地設計図」であり、当時、国立公園・公園計画の第一人者であった内務省技師・折下吉延(おりしもよしのぶ 1881～1966)に依頼して、大正10(1921)年に作製されたものである。本図は、その後の街路、市街区画、公園等都市計画の骨組みとなっており、皆生温泉のなりたちを物語る重要な歴史資料である。



皆生温泉市街地設計図 (縦761mm、横905mm)

## 【議事3】資料

### 米子市文化財保存活用地域計画（案）について

文化観光局文化振興課

#### 1 作成の経緯

文化財保護法改正（平成30年）及び鳥取県文化財保存活用大綱（令和2年）に基づき、市内の文化財全般の保存・活用を総合的に推進するため、目指す将来像や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した『文化財保存活用地域計画』を作成するもの。米子市文化財保存活用地域計画検討協議会（座長・和田嘉宥/米子工業高等専門学校名誉教授）の指導の下に原案を作成し、市民意見募集（パブリックコメント）を行ったところ。令和5年度中の国認定を目指しており、具体的な取組み（措置）を進めていく。

#### 2 地域計画原案の概要（本文別添）

##### （1）歴史文化遺産※の保存と活用に関する将来像

地域コミュニティの変容など社会環境の変化を前提としつつ、市内のどこからでも仰ぎ見ることができる「大山」に見守られるおかげに感謝し、交通の要衝として交流で栄えたまちであることを踏まえ、歴史文化遺産の保存と活用を進めるにあたって、目指すべき将来像を以下の通り定める。

##### 「大山さんのおかげ」と感謝を捧げ、交流の歴史・文化が息づくまち・米子

※指定・未指定に関わらず今まで守り伝えられてきた有形無形の歴史・文化・自然遺産の総体

##### （2）歴史文化遺産の保存と活用に関する主な課題

- まだ把握できていない数多くの歴史文化遺産がある。
- 貴重な歴史文化遺産が滅失あるいは散逸する危険がある。
- 埋蔵文化財及び歴史文化遺産の保存管理環境が十分ではない。
- 文化財の防犯・防災対策の推進が必要である。
- 無形・民俗文化財の継承が危ぶまれている。
- 歴史文化を活かした地域づくり等の取組みが求められている。
- 市民、関係団体、専門家と行政が協働する仕組みがない。 など



##### （3）歴史文化遺産の保存と活用の方針と重点的な取組み（措置）

歴史文化遺産の保存と活用に関する課題を解決し、将来像を実現するための取組について5つの視点から基本方針を定める。

##### 視点1 米子の歴史文化を調べる・学ぶ

- ⇒①（調査研究）例：歴史文化遺産リストの更新
- ⇒②（情報提供）例：「米子の歴史文化遺産」刊行

##### 視点2 米子の歴史文化を後世に伝える・守る

- ⇒①（保存管理）例：文化財指定・登録の推進
- ⇒②（保存管理施設）例：歴史文化遺産公開活用施設の整備
- ⇒③（防災防犯）例：歴史文化遺産ハザードマップの作成
- ⇒④（継承者）例：淀江傘研修修了生自立支援

##### 視点3 米子の歴史文化の魅力を活かす・楽しむ



視点1の例 写真測測調査



⇒①（情報発信）例：米子城魅せるプロジェクト

⇒②（公開活用）例：旧小原家長屋門の修理

#### 視点4 米子の歴史文化を担う人材を育てる

⇒①（担い手育成）例：地域の宝さがしワークショップ

#### 視点5 米子の歴史文化を支える仕組みづくり

⇒①（組織体制）例：歴史文化遺産保存活用フォーラム開催

⇒②（組織体制）例：歴史館運営委員会の開催



視点3の例 米子城ライトアップ

### （4）歴史文化遺産の一体的・総合的な保存と活用

#### <歴史文化遺産群>

米子の歴史文化の特色等を踏まえたストーリーに基づく9つの歴史文化遺産群を設定して、歴史遺産相互の関係性を踏まえた一体的・総合的な保存と活用に取り組む（措置）。

##### ①甕る弥生の国邑の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】弥生絵画土器の修復と公開

##### ②淀江瀉を支配した王の墓と寺院の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】国史跡向山古墳群の再整備

##### ③中世の祈りと戦乱の時代の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】尾高城跡の保存整備

##### ④海城・米子城と城下町の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】国史跡米子城跡保存整備

##### ⑤米子の小路と地藏信仰の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】米子の小路をたどる地藏さんめぐり

##### ⑥砂丘地開発に挑んだ人々の営みの歴史文化遺産群

⇒【取組事例】弓浜半島のトンド保存

##### ⑦鉄道の町・米子の近代化の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】鉄道の町・米子の鉄道遺産保存活用推進

##### ⑧鎮守の森とオオサンショウウオ、豊かな自然の歴史文化遺産群

⇒【取組事例】オオサンショウウオの保護（生息状況把握）

##### ⑨ふるさと米子の伝統的な暮らしの歴史文化遺産群

⇒【取組事例】「セントロ・マントロ」保存伝承



①弥生絵画土器の修復と公開



⑥弓浜半島のトンド保存

#### <歴史文化遺産保存活用区域>

歴史文化遺産が特に集中する以下の2区域を保存活用区域に設定し、重点的、優先的に取組み（措置）を展開する。

##### ①米子城と城下町周辺歴史文化保存活用区域

⇒<歴史文化遺産群④⑤⑦>など

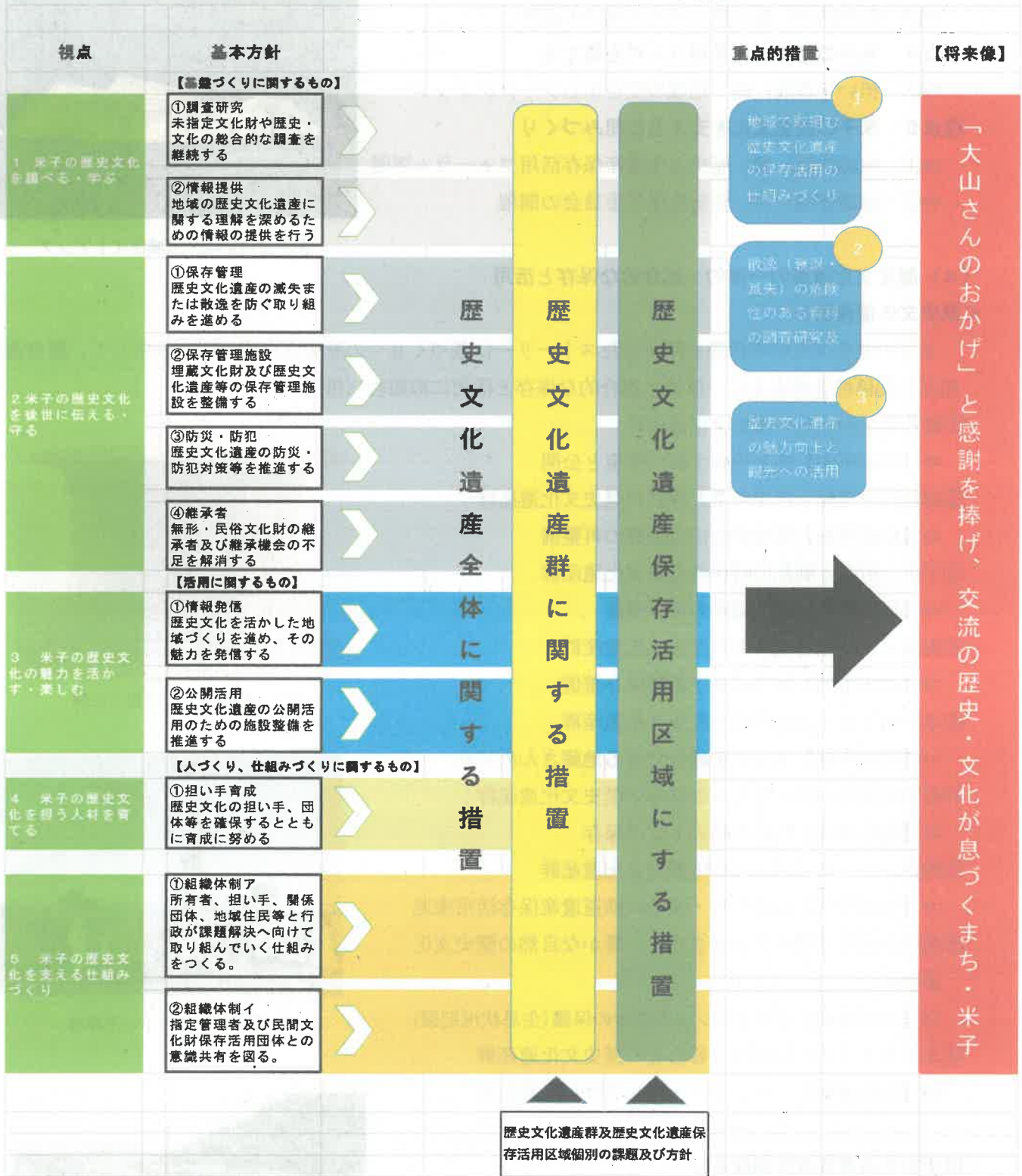
##### ②古代淀江瀉周辺歴史文化保存活用区域

⇒<歴史文化遺産群①②>など



②の取組み例 上淀麿寺彼岸花ウィーク

米子市歴史文化遺産の保存と活用に関する取組み（措置）の体系



(5) 歴史文化遺産の防災・防犯

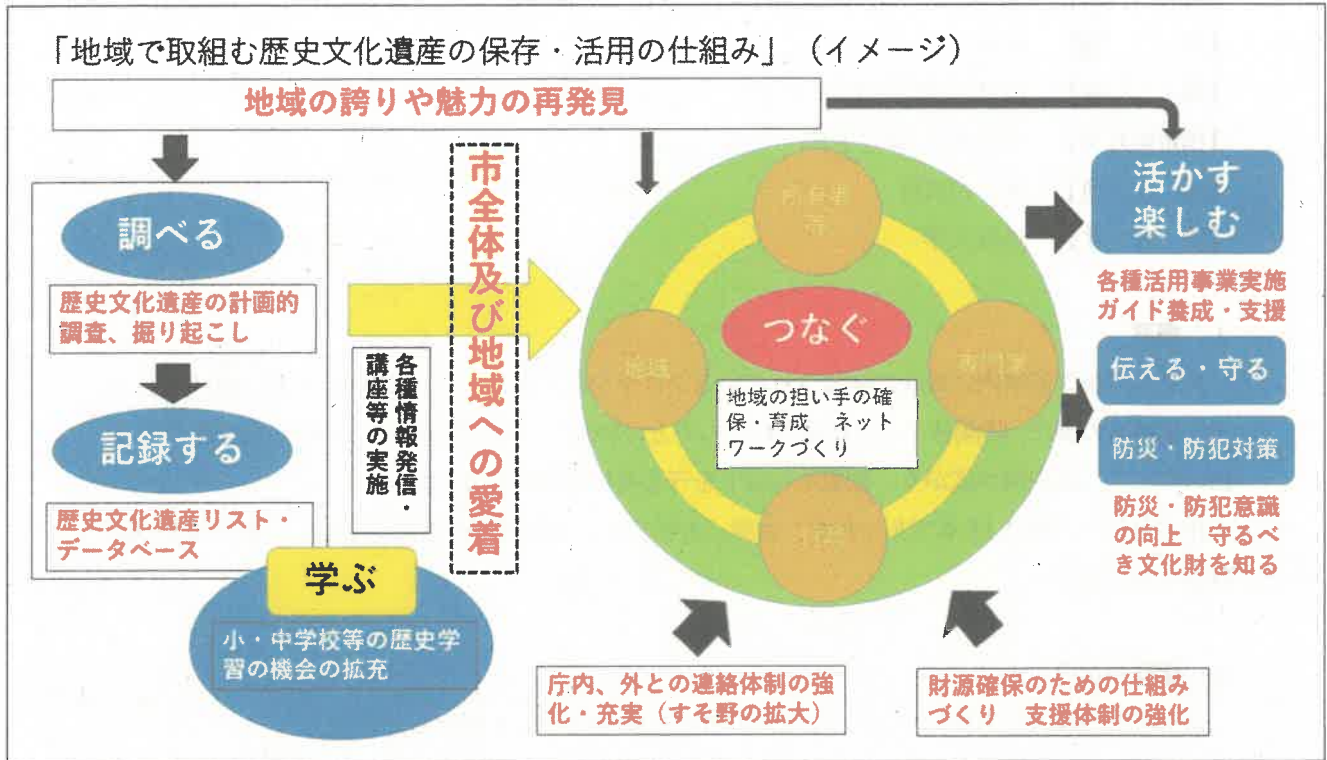
歴史文化遺産の防災・防犯に関する現状と課題を整理したうえで方針を定めます。具体的措置としては、平時からの取組として、各種災害に対する危険性をあらかじめ把握するための「歴史文化遺産（文化財）ハザードマップ」「歴史文化遺産リスト」を作成し、所有者、公民館等への周知を図り、どこに守るべき歴史文化遺産があり、このような災害リスクがあるかを共有し、地域の防災・防犯に



関する意識の向上、知識の習得につなげます。

(6) 歴史文化遺産の保存・活用の推進体制

本計画を推進するにあたり、その中核を担う保存活用地域計画協議会並びに行政（米子市及び関係機関）、地域（地域住民、各種団体等）、所有者・管理者、専門家による体制を構築します。



3 計画期間

『米子市まちづくりビジョン』の計画期間（R2～11）や改定を踏まえ、8年間（R5～12）の計画とし、前期終了段階で中間見直しを行う。

		計画期間									
年度	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和13 (2031)	令和14 (2032)	
地域計画	米子市文化財保存活用地域計画（8年間）								次期計画～		
時期区分	前期			中期			後期				
	▲ 中間見直し						▲ 総括				
総合計画	基本構想							次期総合計画			
	前期計画			後期計画							
教育大綱	米子市教育に関する大綱				次期大綱						

4 市民意見募集（令和5年7月18日（火）～8月21日（月））

主な意見：（1）計画推進のために市内部での各組織間の情報交換が必要。

（2）どこに文化財があるのかを知ることから始めなければならない。

（3）どの様な成果が上がり、市民生活に反映されてきたかを知らせてほしい。

ほか9件

## 【報告1 ①】資料1

### 市指定天然記念物 潮止め松の現状について (報告)

【名 称】	潮止め松
【分 類】	樹木
【員 数】	11本 (指定当初は15本)
【指定年月日】	昭和52年4月1日
【所 在 地】	米子市西町
【所 有 者】	鳥取大学

#### 1. 概要

鳥取大学医学部構内に列状に植栽されているクロマツ群である。江戸時代初め(約400年前)の米子城築城の際に、防潮林として植栽されたものといわれている。当時はこの場所が海岸線であり、松の向こうには中海が広がり、潮風から城下を守る役目を果たしていた。

指定当初の員数は15本であったが、台風、大雪等による幹折れや枯死が発生し、現在は11本が残存している。

#### 2. 管理の状況

所有者の鳥取大学が管理しており、松くい虫の防除を3年に1回行っている。

令和5年4月、鳥取大学から、緊急車両経路に近接する松の幹に亀裂が生じており、倒木の危険があると通報があった。鳥取大学に依頼し、令和5年5~7月にすべての潮止め松についての樹木医診断を行い、8月に米子市文化財保護審議会の鷲見委員と現地確認を行った。

#### 3. 課題

- ・松くい虫の防除剤による薬害が発生しており、腐朽が進んでいる。
- ・腐朽の進行の原因となる着生植物(コフキダケ、ノキシノブ、ハゼノキなど)がみられる。
- ・空洞部分のモルタル充填箇所についても、内部で腐朽が広がっている可能性がある。
- ・指定文化財であることから剪定は最小限にとどめられているが、結果として交雑した枝がみられ、強風時や積雪時に折損の危険がある。
- ・医学部附属病院の緊急車両経路に近接する松2本(別紙8・12)は、倒れて経路を塞ぐと救命救急に支障があるため、特に早急な対応が必要。

#### 4. 今後の方針

- ・劣化が激しく回復の見込みがないもの、緊急車両経路に近接するものを対象に、別紙3・4・8・12の4本の伐採を検討する。
- ・残る7本については、今後も樹木医による継続的な診断を行い、着生生物の除去や剪定、土壌改善、防除剤の変更等、適切な維持管理を行うことを鳥取大学に助言していく。

【報告1 ①】資料2

番号 (米子市)	樹周囲 (m)	樹高 (m)	現状 (有無)	措置	方針	対応案
1	3.9	26.0	×	H23.1月雪害により幹折れ H25.4.25枯死のため解除	-	-
2	1.04	21.0	○	R5.7樹木医詳細調査	保存措置 ・定期点検 ・枝葉の整理と切除不良部の切り直し ・着生植物の除去 ・松くい虫防除(土壌灌注法等) ・土壌改良と施肥による樹勢の向上対策	保存
3	2.55	7.5	○	R5.5樹木医詳細調査	頂端部、根元に空洞部等があり、大風等で倒壊の可能性あり。 危険回避のため伐採を検討	伐採
4	4.44	13.6	○	〃	根元から大きく腐朽が入り断裂がみられ、倒壊の危険あり。 緊急に伐採	伐採
5	3.18	23.5	○	R5.5樹木医詳細調査	保存措置 ・定期点検 ・土壌改良による樹勢回復 ・ドリル穿孔以外の松くい虫防除 ・樹幹傷害部の薬剤塗布	保存
6	0.85	18.6	○	R5.7樹木医詳細調査	保存措置 ・定期点検 ・枝葉の整理と切除不良部の切り直し ・着生植物の除去 ・松くい虫防除(土壌灌注法等) ・土壌改良と施肥による樹勢の向上対策	保存
7	0.75	20.2	○	〃	〃	保存
8	3.16	24.6	○	R5.5樹木医詳細調査	腐朽の割合が高い。 樹高が高いことを考慮し、伐採を検討 ※緊急車両経路	伐採
9	1.14	23.3	○	R5.7樹木医詳細調査	保存措置 ・定期点検 ・枝葉の整理と切除不良部の切り直し ・着生植物の除去 ・松くい虫防除(土壌灌注法等) ・土壌改良と施肥による樹勢の向上対策	保存
10	0.96	15.8	○	〃	〃	保存
11	1.34	20.6	○	〃	〃	保存
12	3.33	15.6	○	R5.5樹木医詳細調査	詳細調査した中で腐朽率が最も高く傷害が今後も広がると思われるため、伐採を検討 ※緊急車両経路	伐採
13			×	H3.9.27台風19号で倒壊し 解除	-	-
14			×	H11.7.5傾斜倒壊し解除	-	-
15			×	H16.10.27台風23号で倒壊し 解除	-	-



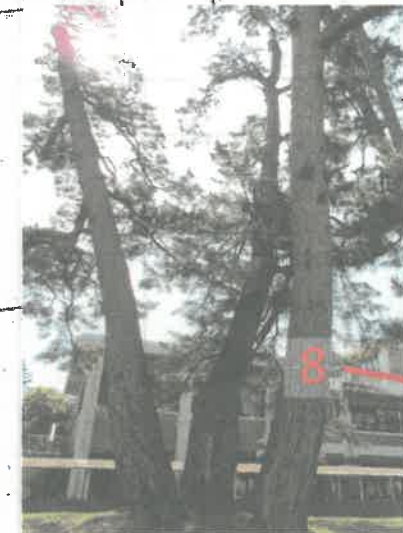
【報告 1 ①】資料 3

潮止め松 : ◎  
 その他の松 : ○

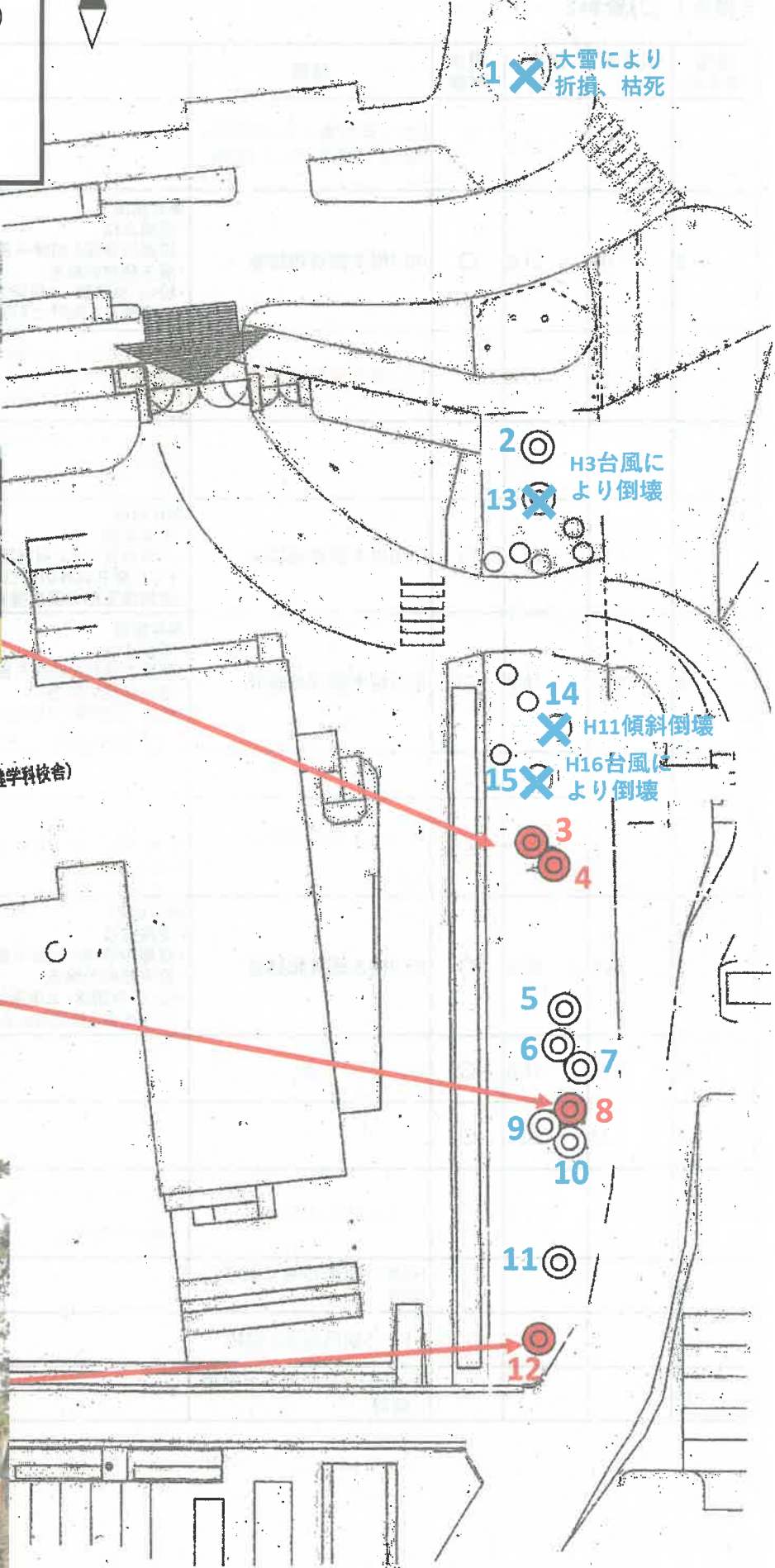


※現在残存する潮止め松は  
 2～12の11本

※赤字は伐採を検討中



(農学科校舎)





診断木 No. 3



写真1 東側からみたNo. 3 全景



写真2 頂端部の枝の状況



写真3 北側主幹の断裂部



写真4 南側主幹の形成層壊死部



写真5 頂端部のトウネズミモチの寄生



写真6 樹幹途中の腐朽菌の子実体



写真7 根元北側の腐朽部



写真8 根元東側の根元空洞部







写真9 東側からみたNo. 4 全景



写真10 3m 部で断幹され腐朽した主幹部  
ねじれた材部に断裂部が走り深い傷害と  
なっている



写真11 北側からみた根元部、こちら側の  
主幹はほとんど腐朽しているとみられる。



写真12 頂端の寄生木  
腐朽が大きく入っているとみられる。



写真13 東側の根元、空洞がみられる。



写真14 西側の浮き根



診断木 No. 8



写真15 東側からみたNo. 8 全景



写真16 頂端部の断幹



写真17 樹幹 12m 部の大枝の切除



写真18 樹幹 15m 部の枝切除



写真19 樹幹南東側部の形成層壊死



写真20 樹幹北西側のノキシノブ着生  
着生部は腐朽が入っている。



写真21 根元高さ 3m までノキシノブ



写真22 根元の巻き根の状況



写真23 根元に見られた腐朽菌子実体



写真24 根元の状況  
根元部分の根株が見えない。

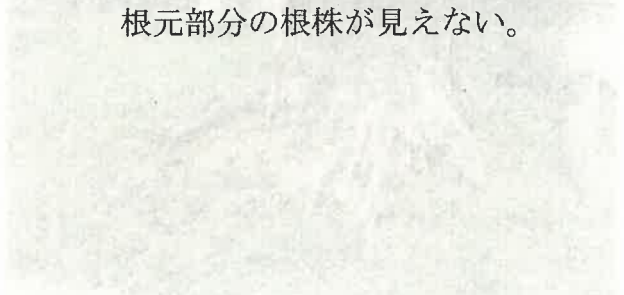






写真25 東側からみたNo. 12



写真26 3.5m 部から断幹された南側主幹



写真27 東側からみた根元の腐朽



写真28 南側からみた根元腐朽



写真29 南西側からみた主幹



写真30 北主幹の腐朽陥没





写真31 主幹西側の形成層壊死



写真32 形成層壊死部の樹幹注入痕



写真33 主幹北側の腐朽した亀裂



写真34 主幹に着生したツタ



写真35 頂端部の幹・枝折損痕の腐朽

## 【報告1 ②】資料1

### 市指定史跡 清洞寺跡の現状について

・名称 清洞寺跡      ・種別 寺院跡      ・指定面積 900 m<sup>2</sup>

**指定理由** この場所は、中世末まで亀島という小島であったが、吉川氏の米子城築城以降埋め立てられ、米子城主加藤貞泰が菩提寺を建立、その後も寺院が建てられた。ここに3基の立派な来待石製の五輪塔があり、米子城にゆかりのある人々により建立された。近世の寺院跡として貴重な遺跡である。

**沿革** 米子城主加藤貞泰が父光泰の菩提を弔うため、曹溪院（五輪塔3）を建立し、次の城主池田由成が父由之（五輪塔1）、母（五輪塔2）の菩提を弔うため海禅寺を建立、その後荒尾氏により禅源寺と改められ、荒尾家の菩提寺としたが泰藏寺と改められた。宝永7(1710)年に、荒尾家の菩提寺は博労町の了春寺へ移った。

その後、荒尾家臣、村河氏が江尾から清洞寺をこの地へ移し菩提寺とした。近代には、鳳翔閣建設の際に五輪塔は了春寺へ移され、その後、湊山公園整備の際に元の場所に戻された。この時、3基の五輪塔が並ぶ、現代の姿になった。昭和52（1977）年4月1日に指定。

**保護の経緯** 3基の五輪塔については、平成2（1990）年度に、薬品による石材含侵強化と表面処理、外面の浮き部とクラックの修復が行われている。

平成18（2006）年に3基の五輪塔が実測調査された際には、全体に風化が進んでいたが、まだ文字が読める状態だった。ただし、薬品で固められた表面が浮き上がった状態で、指で押すとブヨブヨしたような状態であり、拓本も採れなかった。

令和2（2020）年12月に元興寺文化財研究所と合同で行った来待石の保存処理に関する検討会において、保存処理から30年が経過して、強化剤の浸透が表面に留まっているため、その内側から崩壊が進んでいる状態が確認された。再処理は可能だが、効果を維持するためには覆屋が必要と判断される。

**現状** 令和4（2022）年4月の段階で、五輪塔の風化が平成18年の段階よりも更に進行しており、銘文が刻まれていた面は、表面が剥落して完全に失われている。石材にも亀裂が見られ、倒壊の危険があるため、ロープなどで封鎖して立ち入りを制限している。

#### 課題

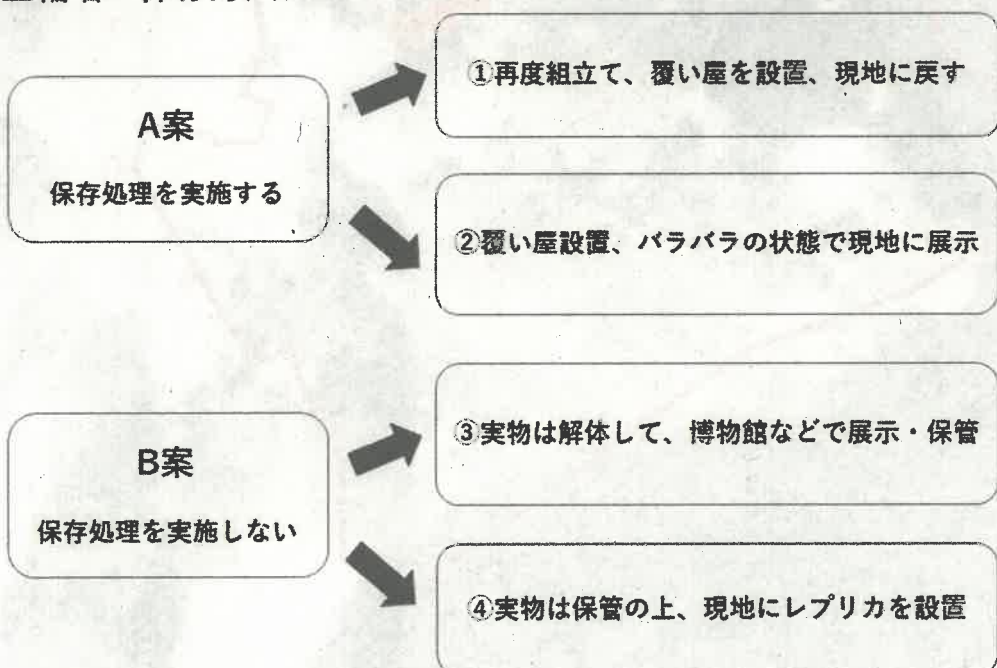
- ①一般的に、来待石製の石造物は経年劣化による風化が避けられず、雨ざらしの状態では百年以上の保持は難しいとされる。
- ②現代の技術でも、石材の中心部まで完全に固める技術は無く、表面的な処理しかできない。
- ③松の木が大木化したことにより、基壇の石垣を押し出して一部を破壊している。





写真 清洞寺跡の五輪塔

### 五輪塔の保存方法について



# 清洞寺跡航空写真

【報告 1 ②】資料 2



133.32248, 35.43038

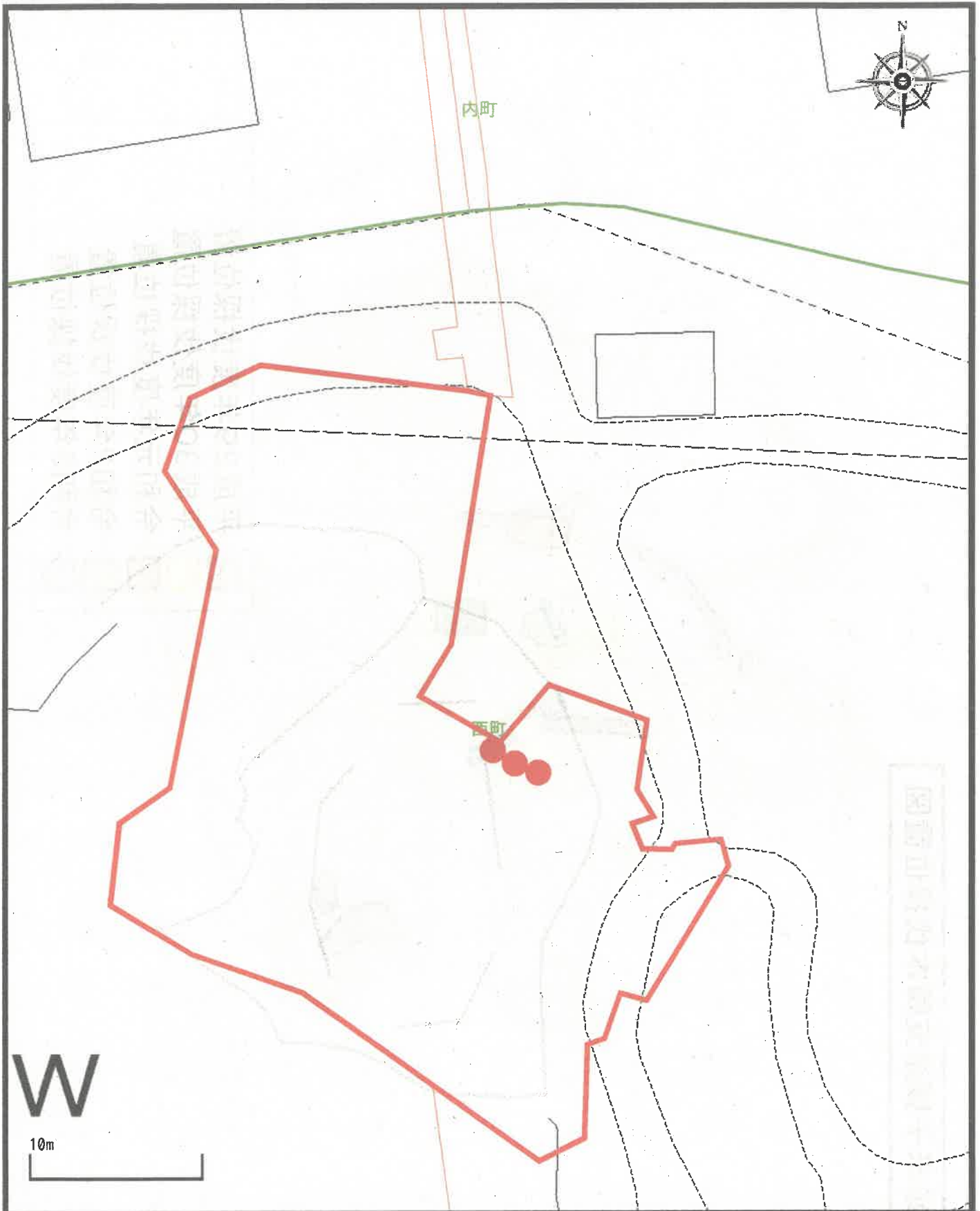
1 / 300

133.32308, 35.43038

# 清洞寺跡地番図

ユーザ： 002597z

【報告 1 ②】資料 3



133. 32251, 35. 43040

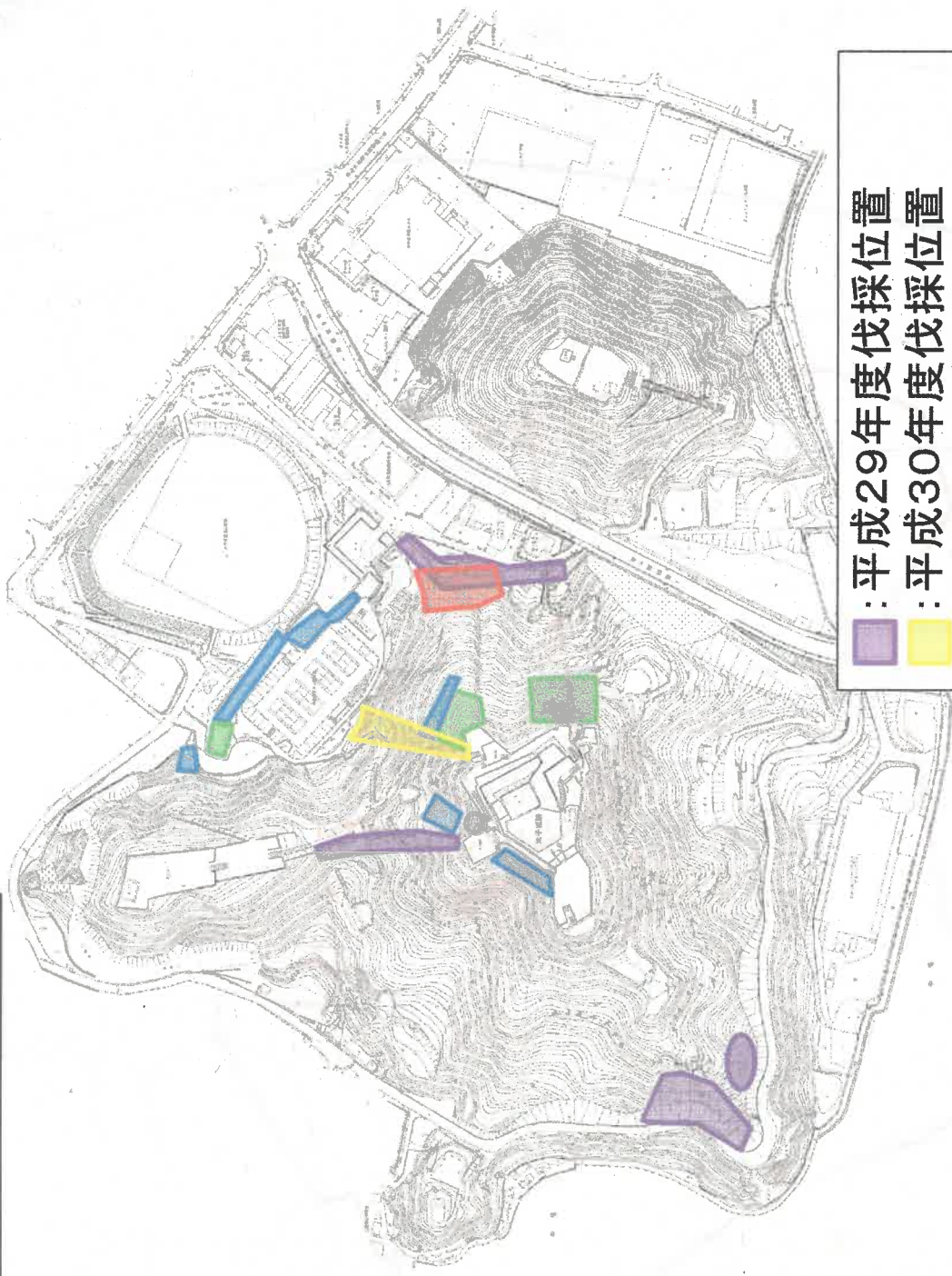
1 / 300

133. 32311, 35. 43040



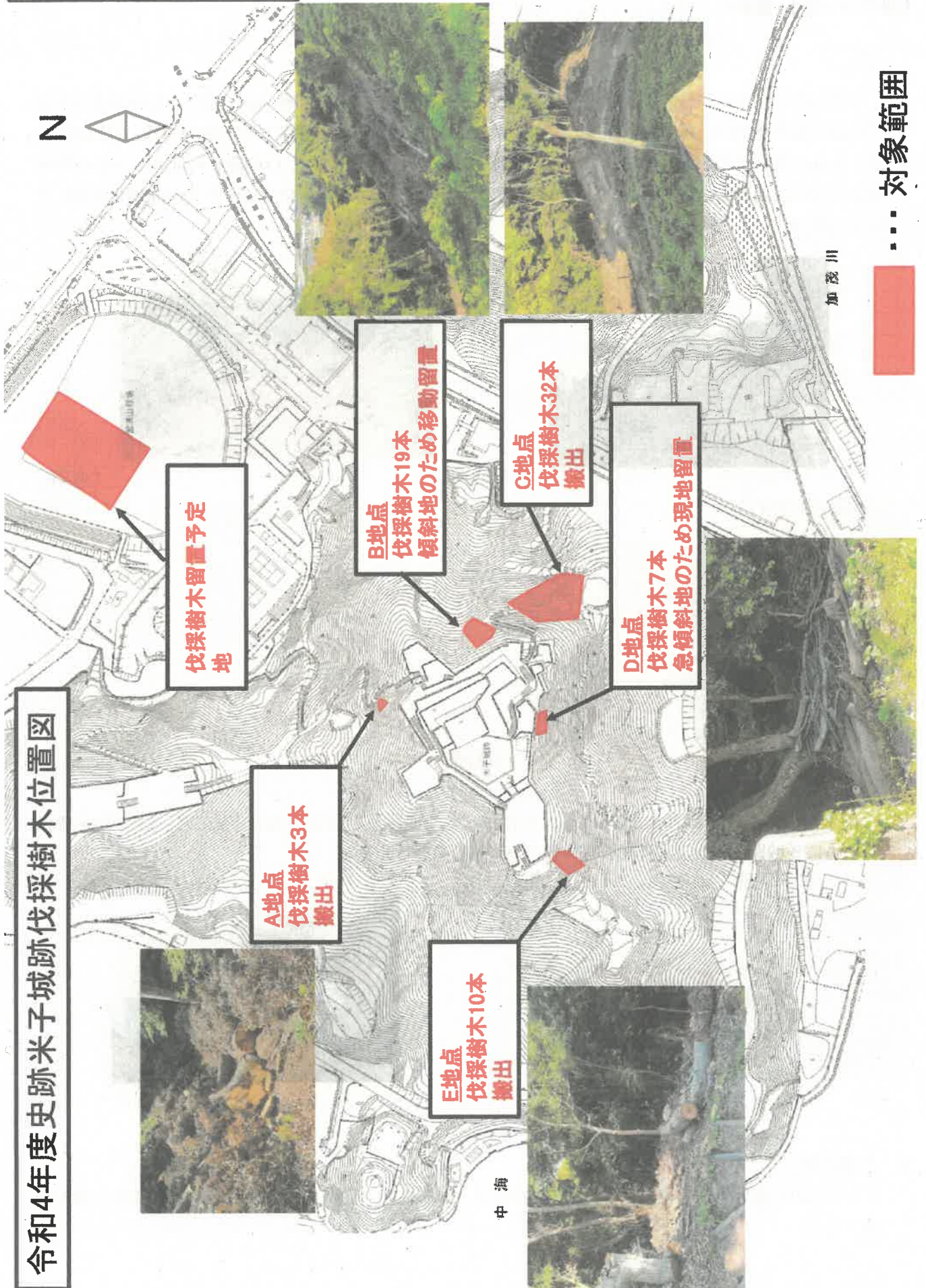
予定書	2024年度調査報告書
調査種別	予定書
調査年度	2024年度
調査地区	千葉県市川市
調査内容	地質調査
調査者	株式会社 〇〇〇
調査日	〇〇月〇〇日
調査時間	〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
調査場所	千葉県市川市〇〇〇

史跡米子城跡支障木伐採位置図



- :平成29年度伐採位置
- :平成30年度伐採位置
- :令和元年度伐採位置
- :令和2年度伐採位置
- :令和3年度伐採位置





## 【報告2-②】資料1

### R5.7.13 史跡米子城跡土砂災害にかかわる対応について

#### 1. 経過

令和5年7月12日から13日の大雨の影響で、史跡指定地内(位置図参考)において土砂の流出による法面の崩落(幅4m、高さ20m程度)が確認された。なお、今回の豪雨時の米子市内では、7月12日に28.5mm(最大1時間降水量16.5mm)、7月13日に51.0mm(最大1時間降水量44.5mm)降雨量をそれぞれ記録しており、7月13日には市内に大雨警報(浸水害)が発令され法面の崩壊に影響したものと思われる。

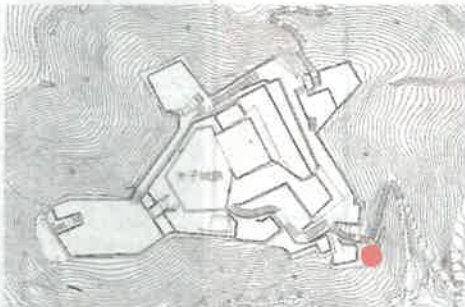


崩落箇所(近景)



崩落箇所

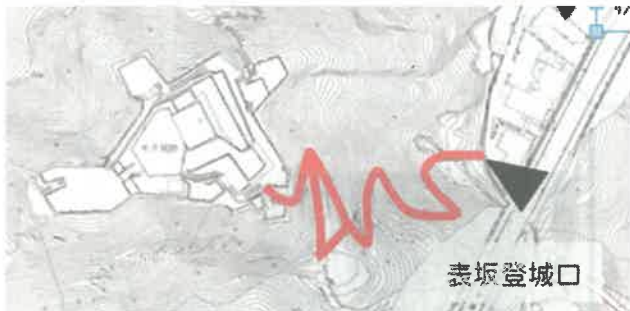
(遠景)



位置図

#### 2. 応急対応

雨水が崩落場所に流れ込まないように、法面のシート保護及び土嚢設置を実施した。また、安全確保のために登城路の一部区間(表坂登城路～天守間)を通行止めとした。



通行止め区間



法面シート保護

#### 3. 今後の対応

9月中(国庫補助金の手続き完了後)に浮石除去、倒木処理、堆積土砂撤去、土嚢追加設置工事を実施する。



【報告2-②】資料2



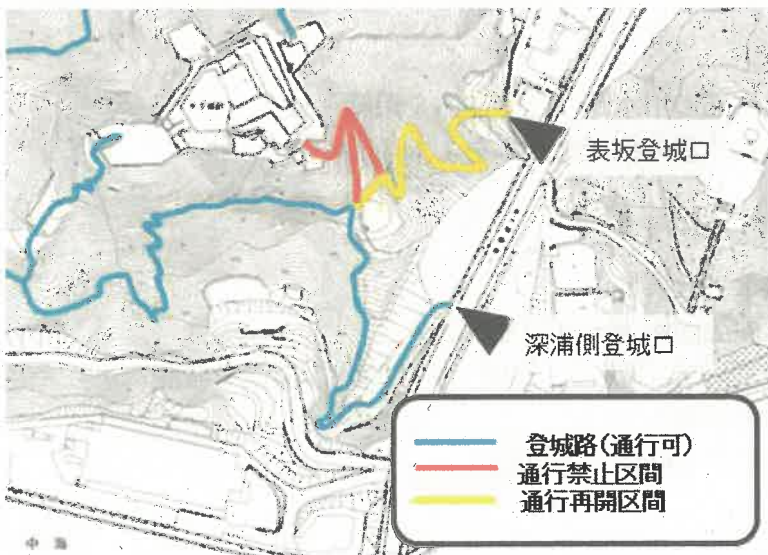
浮石の撤去  
※撤去時、浮石、土砂の滑落を防ぐため仮設工(ネット)の設置



浮石の撤去後  
崩落面の法面の盛土を掘削し、堆積土を土嚢詰め処理。  
(土嚢については土留めに再利用)

枯死木処理

処理終了後、仮設工の撤去、ブルーシートの設置をする。



工事後  
表坂登城口から石仏巡りルートの通行止めを解除する。  
なお、石仏巡りルートから分岐し、天守へ続くルートについては引き続き通行禁止とする。

## 【報告3】

### 令和5年度（上半期）文化財保護事業実施状況について

（令和5年9月30日現在）

#### 1 有形文化財関係

- （1）重要文化財石馬の擁壁設置工事を実施中
- （2）重要文化財後藤家住宅で漆喰の剥落を確認
- （3）小原家長屋門の屋根に防水シート張替

#### 2 無形文化財関係

- （1）淀江傘製造技術  
研修修了後に独立した職人に対する支援

#### 3 民俗文化財関係

- （1）日吉神社神幸神事（ヨイトマカセ）  
5月3日に神幸行列を実施
- （2）米子盆踊り  
講習会を7月に3回開催したが、8月14日開催予定であった第54回大会は台風7号の影響で中止
- （3）弓浜半島及び近隣地域のトンド  
米子市トンド保存会に14地区15集落が加入。崎津4区自治会のトンド用具等（神輿）の修繕を実施

#### 4 名勝・天然記念物関係

- （1）オオサンショウウオ 水浜地区の用水路などで4体を保護・放流
- （2）市指定天然記念物 青木神社社叢の枯死した木を1本伐採

#### 5 史跡・埋蔵文化財関係

- （1）国史跡福市遺跡の法面保護工事を実施中
- （2）国史跡青木遺跡（3号地）の法面保護工事実施設計
- （3）市内遺跡発掘調査（5件終了）、今津岸の上遺跡で弥生時代の環濠を確認
- （4）陰田1号墳の石材亀裂を変位計測中
- （5）お台場公園（淀江台場）の手すり修繕・遊具撤去



## 6 史跡米子城跡関係

- (1) 三の丸便益施設の建設工事を実施中
- (2) 湊山公園駐車場側登城口から内膳丸までの登城路整備工事を実施中
- (3) 米子城跡(天守・四重櫓)のライトアップ(5月6日～14日、7月28日～31日、8月7日～23日)
- (4) バルーン米子城を天守台に設置[がいな祭50周年記念事業米子城バルーン連携イベント](8月19・20日)

## 7 その他

### (1) 山陰歴史館事業

- ① 企画展「郷土の看板」(4月23日～6月11日)
- ② 館蔵品展「資料で語る郷土の戦争」(8月6日～9月3日)
- ③ 企画展・山陰線全通90年「レッツゴー!山陰本線」(9月16日～11月5日)
- ④ ガイドウォーク「石州府古墳群」[文化財団連携事業](6月25日)

### (2) 埋蔵文化財センター事業

- ① 玄関ケース展 根雨原土手下夕遺跡の成果(6月～)
- ② ガイドウォーク「石州府古墳群」[文化財団連携事業](6月25日)
- ③ 考古学講座「米子の古墳について」(9月9日)

### (3) 福市考古資料館事業

- ① 企画展「米子城跡の発掘調査の最新成果と今後の史跡整備」(5月24日～8月28日)

### (4) 上淀白鳳の丘展示館事業

- ① 学ぶ!知る!歩く!歴史講座&ウォーク  
歴史ウォーク「尾高城を歩く!」(4月29日)  
第1回歴史講座「中世米子のへそ」(5月13日)  
第2回歴史講座「尾高城跡発掘調査最前線」(5月20日)
- ② 企画展「大解剖!尾高城」(4月29日～6月25日)
- ③ ガイドウォーク「石州府古墳群」[文化財団連携事業](6月25日)
- ④ 体験学習「ハスの咲く池で法話を聴いて瞑想を!」(7月2日)
- ⑤ 企画展「淀江台場跡-農民が築いた海防の砦-」(9月16日～11月12日)
- ⑥ 第4回彼岸花の里俳句・フォト俳句コンテスト作品募集(9月16日～10月8日)
- ⑦ 「国史跡上淀廃寺跡 彼岸花ウイーク」(9月19日～24日)

### (5) 文化財保存活用地域計画

- ① 地域計画原案について市民意見募集 7月18日～8月21日

## 【報告4】

### 令和5年度（下半期）文化財保護事業実施計画について

#### 1 有形文化財関係

- (1) 県指定保護文化財神像の防災・防犯対策事業を実施予定
- (2) 米子工業高等学校の実習として、文化財の説明看板製作を予定

#### 2 無形文化財関係

- (1) 弓浜緋 講習会及び展示会を実施予定

#### 3 史跡・埋蔵文化財関係

- (1) 開発に伴う市内遺跡試掘調査を予定
- (2) 尾高城跡の魅力を知るシンポジウム（11月25日）  
現地ウォーク・現地見学会（11月26日）

#### 4 米子城跡関係

- (1) 登城路工事、便益施設工事、伐採樹木の撤去を実施
- (2) ダイヤモンド大山観望会（10月21・22日）
- (3) 米子城ライトアップ（10月、12～1月）
- (4) 新年あけまして米子城2024（1月1日）

#### 5 尾高城跡関係

- (1) 遺跡紹介パンフレットを刊行予定

#### 6 その他

##### (1) 山陰歴史館事業

- ① 「米子歴史絵巻」（10月1日）：淀江台場跡で米子盆踊（県指定無形民俗文化財）、淀江さんこ節（市指定無形民俗文化財）を上演
- ② ガイドウォーク「福市古墳群と青木古墳群」〔文化財団連携事業〕（10月14日）
- ③ フレイル予防事業「アートな散歩～淀江の史跡を巡る～」〔文化財団連携事業〕（10月15日）
- ④ ガイドウォーク「宗像古墳群」〔文化財団連携事業〕（11月19日）
- ⑤ 館蔵品展（2月4日～3月31日）
- ⑥ ガイドウォーク「向山古墳群」〔文化財団連携事業〕（3月24日）
- ⑦ 郷土の歴史教室（未定）

## (2) 埋蔵文化財センター事業

- ① ガイドウォーク「福市古墳群と青木古墳群」〔文化財団連携事業〕(10月14日)
- ② ガイドウォーク「宗像古墳群」〔文化財団連携事業〕(11月19日)
- ③ ガイドウォーク「向山古墳群」〔文化財団連携事業〕(3月24日)
- ④ 考古学講座 米子の古墳について(3月)

## (3) 福市考古資料館事業

- ① 企画展「尾高城跡の発掘調査の最新成果～土の城から石の城へ～」(10月14日～1月15日)
- ② 企画展「米子の考古名宝展」(2月14日～3月31日)
- ③ 考古学教室(未定)

## (4) 上淀白鳳の丘展示館事業

- ① ガイドウォーク「福市古墳群と青木古墳群」〔文化財団連携事業〕(10月14日)
- ② フレイル予防事業「アートな散歩～淀江の史跡を巡る～」〔文化財団連携事業〕(10月15日)
- ③ 学ぶ・楽しむ・淀江の歴史遺産講座(11月11日)
- ④ ガイドウォーク「宗像古墳群」〔文化財団連携事業〕(11月19日)
- ⑤ ガイドウォーク「向山古墳群」〔文化財団連携事業〕(3月24日)

## (5) 文化財保存活用地域計画

- ① 米子市文化財保存活用地域計画の国認定
- ② 米子市文化財保存活用地域計画書の刊行
- ③ 文化財保存活用地域計画フォーラムの開催